



常に好評だ。新商品が入荷されると、その日中に売り切れるものも多数ある。ゼロを通して環境への意識を高めてもらえたら」と話すのは、JFE



「1階の食堂に設置しているフードロス削減ボックス『ZERO』が非

食品ロス削減ボックス好評

商事甲南スチールセンター（神戸市東灘区）の北島真治社長。

▽…ゼロはZERO社（東京都台東区、四辻弘樹社長）が開発・運営。「地球上の貧困をゼロにする」「もったいないを循環させやさしい社会をつくる」という理念の下、賞味期限などの理由で廃棄されてしまう菓子、カップ麺、パン、飲料などの食品を、定価から大幅な値引きで購入できるサービスだ。

▽…ゼロの製造・開発においてはJFE商事が2024年7月にZERO

O社と資本業務提携を締結。ゼロ本体にはJFEスチールのGXスチール「JGreex」（ジェイグリークス）が使用されている。

▽…JFE商事甲南スチールセンターでは昨年6月にゼロを設置。月2回、カップ麺や菓子、おつまみ類を入荷している。北島社長は「昼食のお弁当に加えて、カップ麺を日々購入する社員もいれば、まとめ買いした後輩に配り、コミュニケーションのツールとして活用している社員もいる。多くの社員にフードロス問題について身近に考えてもらえたら」と話している。（普）